

株式会社宮日商事

2時間×保険×宮崎市

私たち宮日商事は、宮崎県内5拠点の密なネットワークと豊富な取扱保険会社を背景に、最適なプランをご提案します。創業以来培ってきた長年の実績と信頼をもとに、地域の安心と未来を支え続けます。「お客さま本位の業務運営」を追求し、お客さまの納得と安心のニーズにお応えできる商品・サービスを提供してまいります。

- ◆業種：保険業 ◆事業内容：法人向け保険の販売、個人向け保険の販売
◆設立年：1969年 ◆規模：33人 ◆所在地：宮崎県宮崎市錦本町1番2号

諦めない姿勢でインターンシップに再挑戦！
試行錯誤で何度でも挑戦を

手応えを感じず一度はやめたものの、
必要性を再認識し、内容を改善して再
び挑戦の姿勢に勇気をもいました。



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☐ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激
☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：2時間

営業に取り入れているコミュニケーション方法を理解し、社員との
ロールプレイングで実践！



10:00-10:30 会社説明

会社理解、仕事理解のための説明、全体の流れ共有

10:30-12:00 ロールプレ

質問型営業、質問型コミュニケーションのロールプレイング

事前にWEBで30分間の
プログラム説明会を行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI
・マイナビ

Q4 費用負担は？

特になし

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 何度でも挑戦！一度上手くいかなくても、形を変えてもう一度やる

過去に一度挑戦しましたが、会社説明会に近い内容で学生も集まらず、手応えが得られず中止しました。しかし、近年の就職活動の変化から、**改めて取り組まなければ新卒採用は難しい**と考え、新たな内容で再挑戦しました。

2 2段階構成で学生にステップを踏んでもらい参加ハードルを下げる

当日の対面活動の前に、WEBで30分の事前説明会を実施しました。WEBから対面へ、30分から2時間へと2段階構成にすることで、**学生の心理的ハードルを下げ、参加しやすい工夫**をしました。

3 業務内容ではなく、業務スキルに焦点を当ててプログラムを設計！

業務上、個人情報を扱うため、業務体験をさせられずにいましたが、**「みやざきインターンシップNAVI」のプログラム支援**を受け、弊社の「質問型営業」という業務スキルについて学ぶプログラムを設計しました。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

社内の体制作りを工夫しました。**営業職の若手社員らに企画・運営を任せる**ことで、スムーズで無理のない受け入れを実現しています。企画から当日の運営までを本人たちが担当することで、自身の業務とのバランスを調整しやすく、無理のないプログラムを作り上げています。また、久しぶりの受け入れで不安がありましたが、「みやざきインターンシップNAVI」の協力で事前リハーサルを行ったことで、当日のイメージが湧き、不安を払拭できました。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



一度は断念した活動を再開する中で、**プログラム作りの新しいヒントを得られた**ことが大きな収穫です。以前のプログラムでは、業種の特性上、個人情報を多く扱うために業務を体験させられず、会社説明会に近い内容に留まっていた。しかし、活動再開にあたり外部のアドバイスを受け、業務のスキルに焦点を当てることで、業務体験に近いプログラムができると気が付きました。
2名の学生受け入れにも繋がり、学生からの評判も良好でした。また、社員にとっては、普段の営業理論やノウハウを教えるために学び直す機会となり、**自身の仕事の見直し**にも繋がりました。

担当者・学生の様子

代表取締役 石井様

学生募集でも内容でも、新しい手を打っていかねば、同じ結果しか得られません。一度は諦めてしまった会社も、外部の助言を求めたり、内容を変更したりしながら、何度も挑戦すべきです。弊社のように業務体験が難しい場合でも、スキルをテーマにすることで、**どんな業種でも効果的なプログラムは作れます。**

参加学生は、受け入れ企業を含め、**保険・金融業界についても関心を持っている印象で、前向きな質問も多く、社員の方にとっても勉強になる機会だったそうです！**



株式会社コノハナ

1日×不動産×延岡市

「地域でいちばん愛される会社を目指して」を合言葉に、延岡市を中心に不動産業を展開。これらの仕事は地域の皆様方の支えがあってのことですので、私たちは常に地域の皆様方に対して感謝の想いを忘れず、不動産事業はじめる「地域の持続化に貢献出来る事業」を創出・展開してまいります。

- ◆業種：不動産 ◆事業内容：不動産の仲介(売買・賃貸)・管理・買取・販売、保険代理店業務
◆設立年：2016年 ◆規模：7人 ◆所在地：宮崎県延岡市恒富町4丁目20番地1F



会社だけじゃない。
地域のことも知ってもらおうインターンシップ！

町をよく知る不動産屋さんだからこそ
の地域への想いが溢れていました。



インターンシップの概要について

Q1 インタンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☐ 社員への刺激
☐ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

Q2 インタンの実施期間・内容を教えて下さい

期間：1日

みんなでランチ、営業ロールプレイング(物件探し・営業体験)

9:00-12:00 不動産業界の基礎理解

会社説明、業界紹介、マンション見学、PR投稿体験

12:00-14:00 営業体験とランチ交流

みんなでランチ、営業ロールプレイ(物件探し・営業体験)

14:00-16:00 地域見学による市場理解

アパート見学、自社が携わった住宅や施設をドライブしながら紹介

まとめ 社員との意見交換・座談会

質問BOXを活用した座談会、社員と学生の自由交流



本来2日間で実施予定のプログラムを
1日に凝縮して行っていました。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI
・大学との連携

Q4 費用負担は？

昼食費

Q5 インタンのポイントを3つ教えてください

1 酸いも甘いもぜんぶ体験！

営業の難しさ楽しさ、両方のリアルを伝えています。社員相手に商談を行い、営業の「難しさ」を経験した後に、余った時間は延岡エリアのプチ観光をするなど、学生が「楽しい」と感じられる時間を大切にしています。

2 学生の声で、採用活動が進化する！

座談会等で得た学生の生の声を積極的に採用情報へ反映しています。学生に流行りのMBTIによる社員紹介をしたり、入社後のギャップを防ぐためにポスティング等の泥臭い業務もありのままだに記載するようにしました。

3 会社と地域を一緒に知る！学ぶ！

地域との繋がりが重要であるため、フィールドワークの際に地域の紹介をしたり、近隣の飲食店で一緒に食事をするなど、会社の情報だけでなく地域についても知ってもらう機会を作っています。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

学生が「働く楽しさ」と「現場のリアル」をどちらも感じられるように設計しました。営業ロールプレイングや物件見学で実際の営業活動に近い体験をしてもらうだけでなく、合間に延岡の魅力を紹介して一息つくなど大変さと楽しさを両立させました。一方で1日という限られた時間の中で多くの体験を詰め込むためのスケジュール調整は難しく、現場との連携力が問われました。結果的には、社員にとっても柔軟な対応力を磨く機会となりました。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



学生から「将来を考える上で良い経験になった」という声を多くいただき、高い満足度を得られました。直接的な採用実績はないものの、社員にとっては「人の役に立てた」という実感がモチベーションに繋がり、社内の雰囲気もより前向きになりました。学生の率直な意見を採用資料に反映し、座談会で出た質問やお客さまからのお礼などを追記しました。また、インターンシップをきっかけに、会社の補助により、若手社員と先輩社員が部署を超えてランチに行く「先輩ランチ制度」を導入し、チームの連携力や社員の教育力・柔軟性も高まり、地域・学生・会社の三方にとって意義のある取組となりました。

担当者・参加者の声



不動産事業部 田村様

若い世代の感覚に触れられることが何よりの学びで、大学生だけでなく中学生の職場体験でも今の流行や価値観を知る貴重な機会になっています。学生の受け入れはシンプルに楽しく、入社に繋がらなくても会社にとって大きな財産です。若い人とのご縁を前向きに楽しむことが何より大切だと感じます。



学生の声

社員の皆さんがとても明るく、職場の雰囲気がすごく良いなと感じました。実際にお話を聞く中で、自分がどんなふうに働きたいかを考えるきっかけになりました。まだ将来の方向性ははっきりしていませんが、コノハナの皆さんのように、人のために動ける社会人になりたいと思いました。

九州北清株式会社

2日間×廃棄物処理業×小林市

私たちは創業から一貫して環境課題の解決に取り組んできました。廃棄物を減容し資源として再生する。その取り組みを通じて、循環型社会の実現に貢献することを目指しています。また、公害対策や災害廃棄物処理にも積極的に対応し、静脈産業を牽引してきました。これからも環境保全に携わるという使命感と誇りを胸に、社会に貢献してまいります。

- ◆業種：複合サービス業 ◆事業内容：廃棄物収集運搬・処理事業、太陽光パネルリサイクル事業
◆設立年：1994年 ◆規模：80人 ◆所在地：宮崎県小林市北西方1084-1



会社で1つに！活動の重要性を
全社員で共有し、学生受け入れの体制を整える

人材確保の課題を共有し、活動への理解を深めることで、全社員で学生の受け入れを歓迎する雰囲気が醸成された。



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激
☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：2日間

工場見学・部署訪問・社員面談を通して、業務理解と会社の雰囲気を知ってもらうことを目的とした体験型プログラム。



1日目 会社説明、工場見学

会社概要の説明後、社内各部署とそこで働く社員の様子を見学

2日目 工場見学、社員面談

1日目で見学できなかった部署を訪問、社員との面談

その他、工場見学は年中実施、
半日程度の受け入れも行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI
・マイナビ

Q4 費用負担は？

活動支援金として30,000円(5日間プログラムの場合)

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 不利な条件だからこそやる！まずは知ってもらうところから。

中心部から離れた立地や、清掃・廃棄物処理という職種柄、学生からの認知度が低い問題がありました。だからこそ、**知名度向上を目的**に取り組み始め、学生との交流の場面では以前より知名度が上がった実感があります。

2 "活動支援金"を参加者全員に一律支給！

弊社は宮崎市内から遠く、学生の負担を少しでも減らしたいという思いから、**5日間プログラムの際は「活動支援金」という補助金**を用意しています。居住地や用途を問わず、全参加者に一律30,000円を支給します。

3 人材に関する課題を社内の共通認識にしておく！

弊社は50代の社員が多く、このまま**定年退職が進むと、技術継承ができなくなるという危機意識**と、**若手採用の必要性**を全社員で共有しています。この共通認識があるため、学生受け入れの際も全社員が協力的でした。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

通常の工場見学に比べて、時間が長いので、部署での説明が想定より早く終わってしまうなど、時間管理に苦労しました。担当者が常に学生に付き添い、状況を見て柔軟に行き先を変更したり、次の部署と時間を調整したりすることで、**学生に空白の時間を作らないように徹底**しました。また、インターンシップ関連の講演で学んだ話を総務部内で共有し、活動への理解を得たことで、**応援してもらえる環境**が整い、受け入れ期間中は学生対応に集中できました。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



弊社を知っている学生が確実に増えてきていると感じており、採用活動の裾野が大きく広がりました。実際に工場見学や社員との面談を通じて理解を深めた学生は、面接通過率が高く、応募から採用までの流れがスムーズになりました。また、学生の受け入れにより、「自分の仕事が社外の人にも知ってもらえて嬉しい」と社員が喜び、自分の仕事を誇らしく感じるなど、社内の雰囲気が明るく変化しました。加えて、学生の全部署見学によって、普段関わるのが少ない部署間のコミュニケーションも増加しました。採用の難しさが社内にも伝わり、「**もっと力を入れていくべき**」という風土がさらに強固になったことも大きな効果です。

担当者・参加者の声



総務部 西山様

インターンシップの受け入れを始める前は、大企業しか実施できないものだと思っていましたが、実施してみると**意外と敷居は低く、自分の思い込みだった**と知りました。県のアドバイザーなど、社外からも協力してくれる人がいることを知ったので、是非皆さんも周囲のサポートを受けながら始めてみてはいかがでしょうか。



学生の声

合同会社説明会でたまたま訪れたブースで担当者の話を聞くうちに、興味を持ちました。説明会だけでは具体的なイメージがなかったので、実際に見て学ぶことができて良かったです。担当の方のお話は、今後の就職活動の参考にもなったほか、社員の方の会話の様子から、社内の人間関係の良さも感じ取れました。

黒瀬水産株式会社

4日間×農林水産×串間市

黒瀬水産株式会社は、魚の「おいしさ」「新鮮さ」を大切にし、お客様一人一人に満足いただける安全・安心で、価値ある品質の商品をお届けし、健康で豊かな食生活に貢献します。お客様の信頼と共感を得る為に、一人一人が品質に対する自己の責任を全うし、顧客満足の向上にたゆみなき努力を続けます。

◆業種：水産業 ◆事業内容：ブリ・カンパチの養殖

◆設立年：2004年 ◆規模：271人 ◆所在地：宮崎県串間市西浜2丁目15番地4号

まずは自社の強みにとことん向き合う！そこから見えてきた強みを学生・大学に対し前面に押し出して募集！

「自社の強みを語れるか、そのためにどれだけ自社理解できているか」というとても本質的な考え方に納得した。



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☐ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激
☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：4日間

海上養殖から加工、孵化施設まで、自社の強みを段階的に体験

1日目 会社説明、見学

企業説明、養殖現場の見学

2日目 見学・業務体験

乗船し、海上養殖を体験

3日目 見学・業務体験

加工工場にて魚の加工体験

4日目 見学

種苗施設にてぶりの人工種苗を見学



その他、3日間のプログラムも行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・ワンキャリア
 ・大学教員からの紹介

Q4 費用負担は？

宿泊費(大学の授業以外で参加の場合)

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 自社の強みである“本物の海”での体験にこだわり抜く！

できる限り海上での養殖場見学・体験を実施しています。自然が相手なので、県内の条件が悪い場合は、隣県へ移動してでも体験を確保します。この海上体験こそが弊社の特徴であり、**譲れないポイント**としています。

2 受け入れ学生の学年に応じてプログラムを使い分ける！

就職のことを考える低学年には、まず弊社を知ってもらう目的で3日間のプログラムを行います。一方、本格的に就職活動が動き出す3年生には、働くイメージを深めてもらう目的で4日間のプログラムを行います。

3 大学教授との繋がりから参加学生の確保を実現！

水産分野を研究する教授による視察がきっかけで、授業内でプログラム説明の時間をいただいたほか、教授から学生を紹介してもらうこともありました。**大学教授とのご縁**をきっかけに、安定した参加学生の確保が実現しています。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

プログラム作成や説明において、弊社独自の養殖技術をアピールするなど、他社との違いを見せることを意識しました。その違いが伝われば、学生は自社を選んでくれます。**どの会社にもある他社に負けない強み**をどれだけ語れるかが重要です。苦労したのは、自然が相手なので、プログラムが計画通りに進まない点です。前後の予定を入れ替えたり、予定になかった事業所に対応を依頼するなど、弊社の核となる“水産の現場”は必ず見せるよう徹底しました。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



複数名の内定に繋がり、本選考時期の新卒求人媒体を使わずに新卒を獲得できました。インターンシップに注力した方が、本選考時期の学生募集にかかる費用よりも**コストパフォーマンスが高い**ことに気がきました。

時間や費用をかけて参加してくれ学生に対して特別感を出すために、サイトを經由せず本選考に進めるよう特典を提供しています。これにより、求人媒体掲載前に採用予定人数の一部が充足し、採用活動における安心感に繋がっています。また、コストをかけてインターンシップに参加した上で、選考に進む学生は志望度が高く、内定辞退率も低いです。早期に内定を得たい学生のニーズとも合致したと考えています。

担当者・参加者の声

業務部 加藤様

インターンシップは絶対にやるべきだと思います。参加学生の確保においては、他社を落とすのではなく、他社との違いをどれだけ説明できるか、どれだけ自社の自慢大会ができるかがポイントです。そのためには、自社の事業をどれだけ深く勉強し、理解できているかが重要になってくると思います。

学生の声

元々、水産業界には興味があり、他社のインターンシップにも2、3社参加した上で参加したため、黒瀬水産と他社との違いがよく分かりました。また、実際にインターンシップに参加したことで、想像していたより若い人が多いことに驚き、知ることができて良かったと思いました。

都北産業株式会社

4日間×建設・土木×都城市

都北産業株式会社は宮崎県都城市の地で昭和43年に創業。生コンクリート製造販売、土木、建築、エクステリア、不動産業等、時代の変容に合わせて地域住空間の創造に努めてまいりました。これからも豊かな発想力と地域に寄り添いながら、人と環境にやさしい空間を創造できるようにサポートしていきます。

- ◆業種：建設業 ◆事業内容：建築、土木工事、エクステリアの企画・設計・施工、建設資材の製造・販売など
◆設立年：1968年 ◆規模：140名 ◆所在地：宮崎県都城市神の山町4866-2

よく見せようとしなくていい！ありのままを見せることで
志望度の高い学生と出会い、ミスマッチを防ぐ。

雑用の業務も、業務の少ない一日も含め、普段の業務をそのまま経験してもらい、飾らない姿が素敵でした。



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激
☒ 採用活動の一環 ☒ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：4日間

4日間をフル活用し、各部署での業務体験ができる「業務体験特化型」プログラム

1日目 見学・業務体験

エクステリア工場の仕事説明・工場見学・体験

2日目 見学・業務体験

建築部門の仕事説明・見学・業務体験

3日目 見学・業務体験

土木現場の仕事説明・見学・業務体験

4日目 見学・業務体験

エクステリア設計の仕事説明・業務体験、資材部の仕事説明・見学



その他、1日～5日間まで
幅広い期間で行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI
・マイナビ ・リクナビ ・大学での説明会

Q4 費用負担は？

交通費(条件あり)・宿泊費(条件あり)

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 良いところばかりを見せようとせず、会社のありのままを見せる

掃除などの雑用も含め、**建設業の仕事**をありのままに経験してもらいます。良い部分だけを見せてミスマッチに繋がるより、ありのままを知って入社してくれる学生に出会いたいと考えてます。

2 学生が普段使うコミュニケーションツールを活用！

学生の利用頻度が低いメールの代わりに、**学生に馴染み深いLINEを活用**してコミュニケーションを取っています。これにより、学生への迅速で確実な情報共有と、円滑なコミュニケーションを実現しています。

3 会社説明は事前に！時間いっぱいまで業務体験を実施！

会社説明は事前にWEBで済ませ、受け入れ期間中は初日から最終日まで業務体験ができるようにプログラム設計しています。この工夫により、学生の体験希望の部署を追加できるなど、学生の満足度が高まります。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

工事の進捗によって日々の業務内容が変わる建設の現場では、学生の受け入れ時期に体験できる業務がないという課題がありました。しかし、仕事の量や内容が日によって変動することを含めて、**リアルな建設現場**を学生に見てもらおうという考え方に変えました。この転換により、入社後のミスマッチを防ぐことに繋がるとともに、現場社員も特別な準備がなく普段通りの仕事ができるため、**現場の負担軽減**にも繋がっています。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



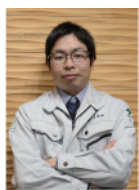
学生の生の声を得られる点が最大のメリットです。会社が「このくらい理解しているだろう」と思い込んでいた点と、学生の実際の理解度のギャップに気付くことができました。これにより、会社説明会でも、学生が魅力的だと感じる点や理解されていなかった部分を把握し、**説明のポイント**を修正できています。

現場社員は、自身が学んだ時代と現在の学生が学校で学ぶ内容の違いを知るきっかけになっており、今後の新入社員指導に活かされると考えています。また、学生との会話から、県外就職率の高さなど最近の就活事情を知ること、採用の難しさを理解し、**若手社員を大切にすべきという意識**が高まっています。

担当者・参加者の声

管理部 辻様

学生から自社がどう見られているかを知らなければ、新卒採用は難しいと思います。志望度も目的も様々な学生が参加するインターンシップだからこそ、ポジティブな面もネガティブな面も含めた、あらゆる視点からの意見が得られる貴重な機会だと捉えています。



学生の声

建築業界について元々持っていた「3K」のようなイメージと、実際の現場が違っていることに驚きました。また、学校で学んできたことと実際の仕事との違いも明確に知ることができました。当初は興味のある部署がありましたが、体験を通じて他部署についても学ぶ中で、新たな興味を持つようになりました。



株式会社戸村精肉本店 5日間×製造業・小売業×日南市

宮崎県日南市に本社を置き、食品小売・製造を行う当社は小さな肉屋から始まりました。今では、宮崎県で焼肉のタレといえば戸村と言われるほどにまで成長いたしました。これからも皆様に親しまれる製品をお届けするために、食への追求に取り組んでまいります。

- ◆業種：製造業、小売業 ◆事業内容：調味料の製造・開発・販売、スーパーの経営、飲食店の経営など
◆設立年：1972年 ◆規模：243人 ◆所在地：宮崎県日南市園田一丁目2番4号

地域留学プログラムとの連携！県外学生の受け入れにより、
県外の視点を取り入れ、事業成長を目指す

県外大学生が対象の企画と連携し、若者と県外在住者の両方の視点を同時に取り入れる仕組みがユニークでした。



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☒ 社員への刺激
☐ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えて下さい

期間：5日間

業務体験や社員へのヒアリングを通じて、自社商品のプロモーション動画を考案し、撮影から動画制作まで実施。

1日目 業務体験、撮影

プロモーションを行う商品の制作過程を体験、素材動画の撮影

2日目 撮影、ヒアリング

素材動画の撮影、プロモーション内容考案のための社員ヒアリング

3日目 動画編集

撮影した素材や、社員へのヒアリングを元に動画制作作業

4日目 進捗確認、動画編集

社員と進捗確認を行いながら、引き続き動画制作作業

5日目 発表、振り返り

制作した動画の発表、5日間の活動の振り返り



その他、高校生や中学生の受け入れも行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

・地域留学プログラム

Q4 費用負担は？

昼食費、交通費(宿泊地からの送迎)

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 地域留学プログラムとの連携で県外学生を受け入れ！

県外大学生が日南市に1か月間滞在し、自分と向き合い、人生を考える「地域留学プログラム」と連携しています。学生の地域理解を深める一環として受け入れ、これまで、2期連続で学生の受け入れを実現しています。

2 会社の成長のために、県外大学生の意見を取り入れる！

弊社の商品に馴染みのない県外大学生からの意見を知るために受け入れを行いました。県外からの視点と、新たな顧客層に成り得る学生の視点を同時に取り入れ、今後の商品展開に生かしていきます。

3 現場からの意見を吸い上げ、プログラムを作り上げる

プログラム作成にあたり、インターンシップ担当者だけで考えるのではなく、各部署に「何ができるか」をヒアリングしました。現場の声を基にプログラムを作ることで、受け入れの際の負担や不安を軽減できました。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

動画制作というプログラムを行うにあたり、敢えて制作経験のない学生を受け入れることにこだわりました。経験者であればすぐに制作が出来ますが、学生にも新たな学びやスキルを獲得して欲しいと考え、敢えて未経験者に挑戦していただきました。受け入れが決まった当初は、現場からの不安や動揺の声が上がりましたが、各部署で当日対応していただく内容を明確にしておくことで、スムーズに受け入れられました。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



地域留学プログラムの学生受け入れ経験は、中高生の職場体験などの受け入れ体制をブラッシュアップし、社会人の職場見学なども受け入れるきっかけとなりました。

弊社は高卒採用を主軸としており、まだ大学新卒採用には至っていません。しかし、外部の声を取り入れながら受け入れを繰り返すことで、学生が働きたいと思える会社に近づくための土台作り役立てています。

また、学生の受け入れは、社員たちが日南市以外への自社商品のブランディングに意識を持ち始めるきっかけとなったり、社内の雰囲気良くなるなど、社員にとっても良い刺激となっています。

担当者・参加者の声

取締役統括部長 庭田様

学生の受け入れを行うことは、社内の刺激や学びになる部分が多く、若い方の考え方を聞くことが会社の成長に繋がります。そのため、まずはやってみることが大事だと思います。採用を真剣に考えるからこそ、学生の受け入れを通じて自社に足りないものを知り、自社のレベルを上げていくことが不可欠だと感じています。



学生の声

宮崎県内で高いシェアを誇る商品の背景を知りたいと思い、参加しました。社員の方へのヒアリングを通し、会社からの要望に応える難しさや、改善をしようと思っても前進しないもどかしさがあることを知りました。そして、それらの経験や、地域を深く理解することが商品作りに直結することを学びました。



株式会社MFE HIMUKA

5日間×製造業×日向市

株式会社MFE HIMUKA は、宮崎県日向市を拠点とする1969年設立の老舗機械メーカーです。食品加工機械や発酵・醸造設備、自動化・省力化機械などの設計・製作・据付から保守・メンテナンスまで一貫して手がけます。オーダーメイドによる高い技術力と柔軟な提案力で、地域産業と食のインフラを支えています。

- ◆業種：製造業 ◆事業内容：各種産業機械の設計・製作・組立据付、各種製造工場の補修・保全業務等
◆設立年：1969年 ◆規模：60人 ◆所在地：宮崎県日向市大字日知屋17148番地9

全て自分で考える！超リアルな実践を通じて、
思考力と即戦力スキルが磨かれる濃密でハードな5日間！

ゼロからアイデアを生み出す徹底的な思考力と、機械の試作まで行う実践力をとことん追求していました。



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☒ 事業成長 ☐ 社員への刺激
☒ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：5日間

デザイン思考をベースに、収集した情報から資金調達まで含めたリアルな事業案を作成

1日目 オリエンテーション

日向市内の探索、社長が講師となりデザイン思考についての講座

2日目 会社を知る

社員との交流や社内ツアーを通じて会社への理解を深める

3日目 クリエイティブタイム

事業案作成のために、フィールドワークも含めた情報収集を行う

4日目 クリエイティブタイム

集めた情報や学びを基に事業案を細部まで考え、資料を作成

5日目 プレゼン発表

作成した事業案を社長にプレゼンテーション



事前に90分のオンラインインターンを行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・宮崎クエストへの応募
- ・大学教授・同窓会組織を通じた紹介
- 社長自ら大学を訪問

Q4 費用負担は？

昼食費、交通費、宿泊費補助(遠方からの参加の場合)

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 ゼロから生み出すワクワクを体感させる

会社から課題を提示するのではなく、課題の設定から学生に委ねることで、ものづくりを超実践的に経験することで即戦力となる力をつけてもらいます。

2 学生のアイデアがそのまま事業成長に直結！

開発担当者と一緒に、試作や設計を経験し、実務そのものを体験します。学生の事業案が優秀だった場合、そのまま弊社の新事業として実現する可能性があり、**学生のアイデアが会社の成果に直結することもあります。**

3 インターンシップ経験社員だからこそできるインターンシップ設計

過去に弊社でインターンシップを経験した社員が、現在のプログラム担当を務めています。経験者だからこそ、自身も求めている超実践型のプログラムを作り込み、学生のフォロー体制を実現しています。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

プログラムの根幹である「デザイン思考」について、社長自らが講師となり丸1日かけて根気強く伝えることで、学生の理解度を高めました。学生の考える力を育てるため、課題設定から学生に委ねましたが、戸惑う学生もいたため、**担当社員との対話を重視し、考え方を導くように工夫**しました。考えて終わりではなく、試作も行うことにより、「ものづくりとは何か」を頭と体で深く理解してもらうよう努めました。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



会社として、知識は入社後でも得られるため、**「考える力」を持った学生を求めています。**そこで、弊社の仕事に不可欠な「デザイン思考」によるものづくりを徹底的にリアルに経験させるプログラムを行うことで、入社後にやりたい事が明確で、即戦力となる学生との出会いが実現し、採用に繋がった事例もあります。インターンシップの実施は、**自社が求めるピッタリの人材に出会える機会**となりました。また、採用に繋がらずとも、学生の斬新なアイデアは、我々の視点では気付けないニーズをカバーしてくれるため、大変有益です。社員にとっても、学生と向き合うことで自分たちの仕事の意義を再確認し、新しい視点を得る貴重な機会となりました。

担当者・参加者の声

取締役会長 島原様

自社の新しい事業には、学生の力が不可欠だと感じました。**新卒採用は、インターンシップから採用まで一貫して取り組むことが重要**です。変化の速い時代の中で、新しい市場を切り開くには、**大学との連携**が欠かせません。自ら積極的にアプローチし、大学と関係作りをすることで、応募のルートも開拓できると思います。

学生の声

会社説明を聞くだけのプログラムが多い中で、実践的に開発を経験できることに魅力を感じ、参加しました。ここでしか得られない実施内容だったので、**遠方からでも通いました。**参加前後で、考え方や物を見る目が変わりました。実際に自分が入社して働くイメージを描くことができたので、すぐに入社を決しました。



センコービジネスサポート株式会社 5日間×情報通信×延岡市

センコービジネスサポートは、コンタクトセンター、事務代行等の業務を通して、お客様の事務の効率化や生産性の向上など様々な経営課題に対するソリューションを提供する会社です。ビジネス環境の変化を先取りし、お客様のニーズを的確に捉え、常にお客様にとって何がベストかを考え、提案することを心がけています。

- ◆業種：情報通信 ◆事業内容：コンタクトセンター、調査・入力・集計・分析、データプリントサービス、事務代行等
- ◆設立年：2006年 ◆規模：414人 ◆所在地：宮崎県延岡市天下町1176-13



実務体験が難しい業種・業界でも
工夫次第でインターンシップは実施可能！

業務内容上、実務をさせられない、
成果物を作れない中で現場のリアル
を伝えるための工夫が沢山ありました！



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☒ 社員への刺激
☐ 採用活動の一環 ☐ ミスマッチ防止 ☐ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：5日間

5日間で数多くの部門を体験し、会社全体への理解を深めると同時に学生自身の適性や強みを発見する。

1日目 会社理解・研修

コールセンターの実践的な電話対応体験、ビジネスマナーを学ぶ

2日目 ワーク、部門見学と体験

働く意味や意義を考えるワーク、IT部門の見学・体験

3日目 部門見学と体験

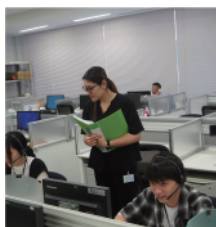
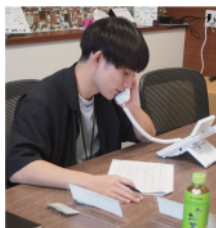
給与計算事務部門、カスタマーサポート部門の見学・体験

4日目 部門見学と体験

経理事務部門、印刷物作成部門の見学・体験

5日目 発表・フィードバック

5日間の気づきを発表してもらい、社員からフィードバック



毎月の見学会と、その延長の
オープンカンパニーも行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI
- ・大学教員からの紹介
- ・延岡市主催就職説明会
- ・Instagram

Q4 費用負担は？

交通費

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 個人情報の取り扱いが多い中でもリアルな現場を再現！

業務内容上、個人情報の扱いが多く実務を体験するのが難しい中、ダミーデータを用いることで実務に近い業務を体験させます。
現場で求められる丁寧さと責任感を可能な限りリアルに感じてもらいます。

2 インターンシッププログラム募集の紹介文でも学生目線を意識

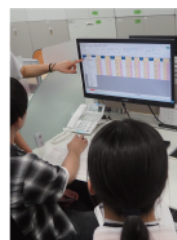
学生の不安を事前に払拭するため、プログラム紹介文は学生に語りかける口調を用い、分かりやすさと安心感を意識して作成しています。
参加キャンセルが少ないのは、この取組の成果かもしれません。

3 事業そのものとは別の形で学生の成果を形に！

業務柄、学生に実務での成果物を作ってもらうことは難しいため、見学と体験に加えて、SNS運用検討会に参加してもらい、学生目線でSNS発信を担うという形で**学生の成果が残るよう**にしています。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

擬似データを用いて業務を体験してもらい、実際の現場感を損なわない様に工夫しました。また、複数部署を経験する過程で、部署間の受け入れ態勢や実務経験のない学生への対応力にばらつきがあることが課題でしたが、**新入社員研修の一部流用**で受け入れのハードルを下げ、受け入れを継続したことで各部署の対応力は向上しています。
今後は、複数部署での経験提供に加え、特定の領域に特化したプログラム作成にも注力したいです。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



インターンシップの実績があることで、「**学生に寄り添った会社**」だと、学生からのイメージアップに繋がったと感じます。また、参加した学生の口コミにより認知が広がったり、就活イベントでインターンシップ参加学生と再会したりと、**学生との縁**が広まりました。社員にとっても後輩指導の練習になったり、学生と接する中で違う一面が見られたりと、インターンシップが**社内のカンフル剤**の様な役目を果たしてくれています。
また、採用活動について関心を持つ社員が増加し、新卒採用のみならずリファラル採用にも協力してくれる社員が増え、社員自ら自社の魅力を周囲に発信してくれるなど、採用に関する社内の意識変化も感じています。

担当者・参加者の声



企画管理部 熊谷様

自社にとっての「当たり前」こそ実施のヒントです。**無意識の強みを会社の強みとしてプログラムへ昇華**することが大切です。新卒採用には組織全体の協力が不可欠で、インターンシップは社内を巻き込む絶好のチャンスです。**採用が困難なこの時代に、多くの企業が実施するインターンシップを活用してはいかがでしょうか。**



学生の声

なんとなく興味がある程度だったのが、様々な部署でリアルな職場体験を行い、職場の雰囲気や実際に働く人の声を聞くことで、会社のことがより正確に理解できました。自分の大学での**今の学びが会社でどれくらい通用するか**が分かり、これからの学生生活で何を学ぶべきかが明確になりました。

株式会社システム開発

5日間×情報通信×宮崎市

株式会社システム開発は、ITを通じ豊かな地域社会の創造に貢献していくことを目指しています。私たちが目指すCSRは、ITを通じ、お客様、従業員、お取引先、地域社会をはじめとした皆様に対して、価値やサービスを創出・提供し、信頼を獲得していくことにより、社会全体と私たちが共に成長をしていくことであります。

- ◆業種：情報通信業 ◆事業内容：コンピュータシステムの開発・販売・保守、ハードウェアの販売等
◆設立年：1986年 ◆規模：81人 ◆所在地：宮崎県宮崎市大橋3丁目101番地1号

成果を形に残す！業務の初めから終わりまでを
経験させ、仕事・企業理解をより深めてもらい、採用にも繋げる

実務体験の難易度を下げつつも、リアリティを追求する設計で学生満足度を高める工夫が随所に見られました。



インターンシップの概要について

Q1 インタンの実施目的は何ですか？

- ☐ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☒ 社員への刺激
☒ 採用活動の一環 ☒ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

Q2 インタンの実施期間・内容を教えて下さい

期間：5日間

実務に近い業務体験、業務効率化ワーク、グループ課題、そして社員交流を通じて、働くイメージを深く学ぶ

1日目 オリエンテーション

会社説明、コミュニケーションワーク、システム部署での業務体験

2日目 グループワーク

擬似作成した顧客要望を基に、チームでサービス案を企画・検討

3日目 業務体験

2日目に企画したサービスを、実際に製品化する業務体験ワーク

4日目 業務体験

3日目の製品化業務ワークのブラッシュアップ

5日目 成果発表

各部署の社員が可能な限り傍聴する中での発表、フィードバック



その他、1日間～3日間のプログラムも行います。



Q3 学生集めに活用した方法は？

- ・みやざきインターンシップNAVI・大学キャリアセンターへの訪問、案内
・合同企業説明会(民間運営ナビ主催)・マイナビ・キャリアス

Q4 費用負担は？

昼食費(1回分)

Q5 インタンのポイントを3つ教えてください

1 文理問わず参加できる「入り口設計」！

文理や知識の有無を問わず、**IT初心者でも取り組める設計**にしています。実務を分かりやすく噛み砕き、身近な題材を使い、システム開発の基礎理解から楽しさまでを参加者全員が実感できるよう工夫しています。

2 製品化までやりきり、「成功体験」を形に残す！

5日間を通して実務フローに沿った業務を経験し、最終日に自作した製品を発表してもらうことで、「自分の手で作り上げた」という実感と、プログラミングを通じた達成感を得られるプログラム設定にこだわっています。

3 学生も社員も参加しやすいスケジュール設計

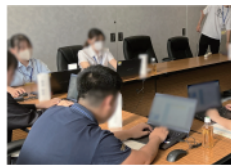
5日間のプログラムは、最終日を除き午後から実施しています。また、2日間の場合は、1日あたり7時間、3日間の場合は午後のみ実施するなど、**学生・社員双方にとって参加しやすい環境**を整えました。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

社内からの理解を得ることに苦慮しましたが、社長や人事担当者から人材確保の重要性を説明してもらい、徐々に理解と協力を得ました。また、インターンシップ期間だけでなく日頃のコミュニケーションの積み重ねが社内協力に不可欠だと実感しました。プログラム終了後も参加学生へ会社情報の発信を行ったり、座談会を開いたりするなど、**継続的な接点を取り続けることを意識**しました。こうした取組が、その後の採用にも繋がった重要な要素だと感じます。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



プログラムを通して学生の会社理解が深まったことで、一次選考への移行率や選考通過率が大きく向上しました。実務フローに近い業務体験と成果発表により、学生が「働く姿」を具体的に思い描けるようになり、**志望度の高まりを実感**しています。また、受け入れ回数を重ねる中で、社内にも採用の重要性が浸透し、今回のインターンシップに向けたアイデアが現場から自然と生まれるようになりました。若手社員にとっては、学生へ業務を説明する経験が成長の機会となり、コミュニケーション力の向上にも繋がっています。インターンシップは、**採用活動と社内活性化の双方に良い効果**をもたらしました。

担当者・参加者の声

総務部 河野様

5日間のインターンシップは、会社の雰囲気や社員の人柄まで伝えられる貴重な機会です。会社説明会だけでは伝わりにくい、会社の深い魅力が伝わるほか、多くの社員と関わることができます。弊社も当初は会社説明会のみからのスタートでした。**まずは小さく始める形でも良いので、取り組んでみることをお勧めします。**



学生の声

多くの社員の方と話せたことで、職場の雰囲気や働くリアルを深く知ることができました。グループワークを通して「**チームでつくり上げる楽しさ**」を体験でき、システム開発の仕事がより身近に感じられました。職場のコミュニケーションの大切さも実感でき、貴重な5日間でした。





株式会社ボラシェア 5日間×障がい者支援×宮崎市

「障がい者就労100%」を目標に活動しています。BtoBでは企業の障がい者雇用促進支援、BtoCでは障がい者の就労支援、18歳以下の障がい児向けに放課後等デイサービスや個別指導塾を運営しています。これらの活動により、ビジョンである「地球の未来を創造する」ことを目指し続けます。

◆業種：福祉、人材紹介 ◆事業内容：障がい者の就労支援、企業への障がい者雇用促進、障がい児の学習支援等
◆設立年：2016年 ◆規模：27人 ◆所在地：宮崎県宮崎市瀬頭2丁目11-1



1つ1つがオリジナル！
学生の希望ごとにカスタマイズしたプログラム作り

学生一人ひとりの希望を少しでも
叶えようとする姿が印象的でした。



インターンシップの概要について

Q1 インターンの実施目的は何ですか？

- ☒ 認知拡大 ☐ 事業成長 ☐ 社員への刺激
☒ 採用活動の一環 ☒ ミスマッチ防止 ☒ 社会・地域貢献

Q2 インターンの実施期間・内容を教えてください

期間：5日間

多様な働き方を学ぶため、利用者との交流や業務体験、課題解決に取り組む実践型プログラム。

1日目 研修、部署見学

会社や施設の概要説明、基本研修を実施

2日目 部署見学

全部署を見学し、各事業内容やスタッフの役割を学ぶ

3日目 希望する施設の見学

事前面談で希望した施設・部署で実際の業務を体験

4日目 課題解決ワーク

与えられたテーマに沿って、気づきや改善案をグループで考察

5日目 まとめ・振り返り

職員からの感想共有と意見交換。全体で学び・今後の目標を共有



その他、2日間のプログラムも
実施しています。



Q3 学生集めに活用した方法は？

・みやざきインターンシップNAVI

Q4 費用負担は？

有償(時給)、昼食代、交通費1日上限500円

Q5 インターンのポイントを3つ教えてください

1 学びと社会体験を両立できる“有償”インターン！

2日間・5日間いずれも有償で実施することで“働くこと”の責任と価値を体験してもらい、より積極的・自主的な学びになるよう設計しました。学生が学びながら社会に貢献できる機会を提供しました。

2 学生一人ひとりに合わせたプログラム設計！

事前面談で学生の希望を丁寧にヒアリングし、学生の目的に応じて内容をカスタマイズしました。実施中にも柔軟にプログラムを調整・変更し、満足度の高い体験を実現しました。

3 緻密な情報共有で柔軟に会社全体での受け入れを実現！

募集の段階から学生の状況を全社員で共有し、細かな状況を把握することで、柔軟な対応を実現しました。受け入れ後の成果も全社員にフィードバックすることで、達成感を共有し、次回の受け入れに繋げています。

Q6 工夫・苦労した点を教えてください。

学生の目的や関心を事前面談で丁寧にヒアリングし、一人ひとりに合わせたプログラムを作成しています。例えば体験する部署を学生の希望ごとに変更したり、学生の進捗具合に合わせて前後の内容を入れ替えたりしています。一方で、学生の希望によって受け入れ部署が毎回異なるため、現場のスタッフと調整しながら進行する難しさもありました。受け入れ回数を重ねることでスタッフの対応力も高まり、組織としての成長にも繋がりました。



Q7 効果・成果はなにかありますか？



インターンシップを通じて、学生と会社の新たな繋がりが生まれました。入社に直結した学生はまだいませんが、受け入れ後もアルバイトとして継続に関わる学生もおり、採用活動における貴重な接点づくりに繋がっています。事前に、実践的な業務を長期で経験しておくことで、入社後のミスマッチ防止や、入社した際に仕事をスムーズにスタートさせる目的もあります。社員にとっては、学生の新鮮な視点やまっすぐな姿勢が刺激となり、職場全体が前向きな雰囲気になりました。また、学生の施設を利用する生徒の成長にも繋がっています。受け入れを通じて、会社・学生・施設利用者の三方に良い変化をもたらしています。

担当者・参加者の声



企画室 渡邊様

学生との出会いは貴重なチャンスだと感じています。若い世代の考え方に触れることで、スタッフにとっても多くの学びがありました。短期間でも学生の成長を感じられ、会社全体にも良い刺激となりました。今後も多様な働き方を伝えていきたいです。



学生の声

「障がいと共に生きる」というテーマに興味を持ち、もっと学んでみたいと思い応募しました。体験の中で仕事内容を詳細に理解し、今まで知らなかった会社の取組を新たに知り、よりこの仕事に魅力を感じるようになったため、この経験を活かしながら施設利用者の方と共に成長したいと思いアルバイトを決意しました。